

## 平成27年3月期 第70期 業績概要

桂川電機株式会社

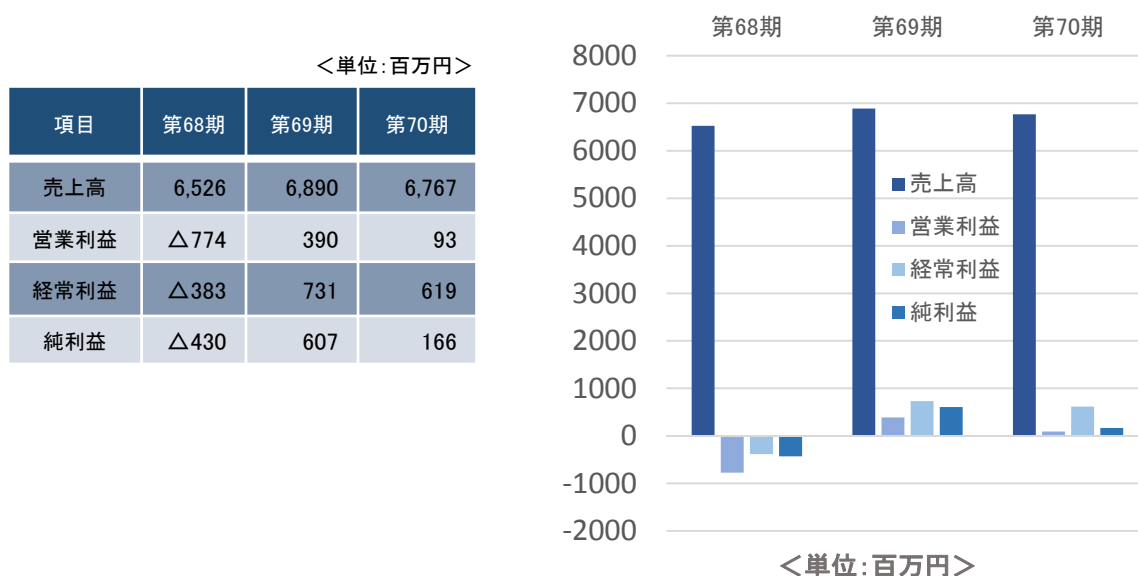
当連結会計年度(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)におけるわが国経済は、消費税率引上げ後の落ち込みの回復は遅れ、円安等により先行する物価上昇に伴い、個人消費は足踏み状態で勢いを欠く状況が続いてまいりました。一方、政府の経済政策の効果による一部の企業収益の回復が設備投資や所得、雇用環境の改善に結びつき、全体としては、緩やかな回復軌道をたどる状況で推移いたしました。

こうした中、当社グループにおきましては、作業の効率化や迅速化に加え、顧客が要望する新たな商品への機能追加やアフターサービスを含めた顧客満足度の向上にも注力し、新規顧客の開拓、既存顧客への買替え等、需要の喚起を促し、業績が回復している米国販売を中心に市場における受注の獲得にも注力し積極的な営業活動を実施してまいりました。一方、グループ間の構造改革の総合効果による回復が遅れている欧州再編成に向け企業基盤の再構築を図るため、固定費削減を含むコスト改革、資金及び資本政策を含む財務面の抜本的な改革を進める等、収益の回復に取り組んでまいりました。しかし、欧州やその他地域での企業の設備投資意欲は弱く、売上高は前連結会計年度を上回ることが出来ませんでした。

この結果、当社単体の当会計年度の売上高は、67億67百万円(前年度は68億90百万円)、営業利益は93百万円(前年度は3億90百万円)、経常利益は6億19百万円(前年度は7億31百万円)、当期純利益は1億66百万円(前年度は6億7百万円)となりました。

当社グループの強みは、1960年代に開始し、その後継続して現在当社グループの基幹となる電子写真技術応用の複写機、プリンタ、スキャナといった画像情報機器に係る長年にわたり重ね築き上げた良好な経験とスキル、そして卓越した技術力にあります。それを根底に2年前をボトムとして更なる一歩に絶えず歩を進めて行く所存です。

### 単体業績概要



## 連結業績概要

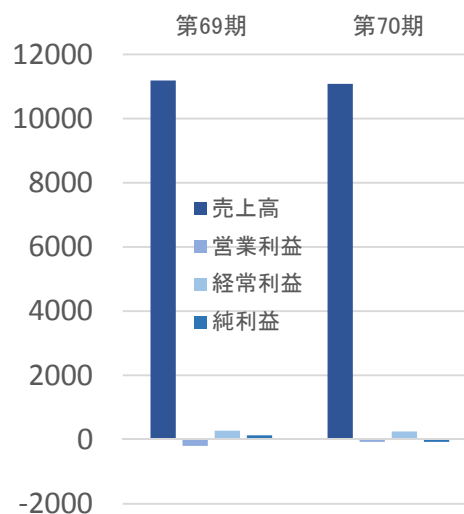
当連結会計年度の売上高は前年同期に比べて0.9%減少し、110億81百万円(前連結会計年度は111億86百万円)となりました。

利益面につきましては人件費・経費削減等の施策効果もありましたが、欧州での売上の減少や経費等を補えず、当連結会計年度の営業損益は32百万円の営業損失(前連結会計年度は1億99百万円の営業損失)、経常利益は為替差益2億63百万円を計上したことにより2億50百万円(前連結会計年度は2億76百万円)、当期純損益は73百万円の当期純損失(前連結会計年度は1億33百万円の当期純利益)となりました。

### 連結業績要

<単位:百万円>

項目	第69期	第70期	前年比増減額
売上高	11,186	11,081	△105
営業利益	△199	△32	167
経常利益	276	250	△26
純利益	133	△73	△206



<単位:百万円>

## 営業外損益

営業外損益は為替差益2億63百万円を計上したことにより2億83百万円の利益となりました。

<単位:百万円>

	第69期	第70期
営業外収益合計	519	334
営業外費用合計	43	51
営業外損益	476	283



※取引通貨レートの数値は、各決算期末日のTTMLレート  
【出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティング】

## 事業別の業績

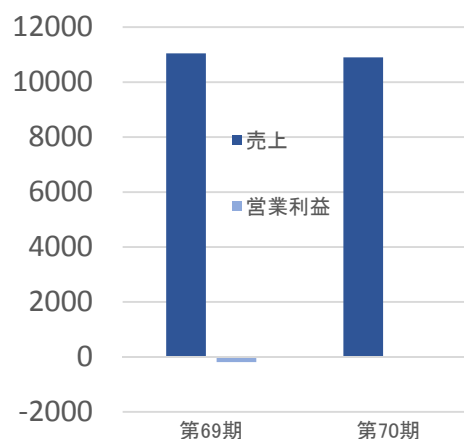
### 画像情報機器事業

画像情報機器事業におきましては、欧州地域での売上の減少、価格競争の激化による販売価格の低下等、売上高及び利益面で総じて厳しい状況が続き、当連結会計年度の売上高は前連結会計年度より減収となりました。当連結会計年度の売上高は109億4百万円(前連結会計年度は110億49百万円)で、前連結会計年度に比べて1.3%の減収となり、営業利益は33百万円の営業損失(前連結会計年度は1億87百万円の営業損失)となりました。

- ・市場競争が一段と激化する中、売上高は若干の減少はあるものの前年並み
- ・北米市場を中心に普及機モデルの伸び
- ・今後は新製品の市場投入を含め、市場競争激化の中、積極的な需要喚起を図る

<単位:百万円>

	第69期	第70期
売上	11,049	10,904
営業利益	△187	△33



### その他事業

その他事業のモーションデバイス事業におきましては、量産品のモーターの受注が堅調に推移し、特殊使用品等の小ロット注文にも対応し販路の拡大に努めてまいりました。

当連結会計年度の売上高は1億76百万円(前連結会計年度は1億36百万円)で、前連結会計年度に比べて29.4%の増収となり、営業利益は1百万円の営業利益(前連結会計年度は12百万円の営業損失)となりました。

- ・売上は前年度比、約30%の伸び
- ・営業利益での黒字への転換

<単位:百万円>

	第69期	第70期
売上	136	176
営業利益	△12	1

